

メッセージ 4

主イエスの御名の中で祈る

聖書：ピリピ2:9-11. エペソ5:20. コロサイ3:17.

ヨハネ14:13-14. 15:16. 16:23-24

- I. 主の御名は、主イエスが彼のパーソンと働きにおいて何であるかの総合計の表現です。「イエスの御名の中で」は、主であるすべての範囲と要素の中で、を意味します——ピリピ2:9-11. 使徒3:6。
- II. 「イエス」の御名は、ギリシャ語であり、ヘブル語の名の「ヨシュア」と等しいです。その意味は、「エホバ・救い主」、あるいは「エホバの救い」です。この御名は、「わたしは、『わたしはある』である」を意味する「エホバ」の御名を含んでいます——マタイ1:21. 出3:14:
 - A. イエスの御名は、あらゆる名にまさっています。主の昇天以来、地上にはイエスの御名にまさる名はありません——ピリピ2:9-11。
 - B. イエスの高く引き上げられた御名は、わたしたちがその中へと信じるためであり(ヨハネ1:12)、その中へとバプテスマされるためであり(使徒8:16. 19:5)、救われるためであり(4:12)、いやされるためであり(3:6. 4:10)、洗われ、聖別され、義とされるためであり(I コリント6:11)、呼び求めるためであり(ローマ10:13. I コリント1:2)、その中で祈るためであり(ヨハネ14:13-14. 15:16. 16:24)、その中へと集められるためであり(マタイ18:20)、悪鬼を追い出すためであり(マルコ16:17. 使徒16:18)、その中で大胆に語るためです(9:27)。
 - C. サタンは、イエスの御名を憎み、人を利用してイエスの御名を攻撃させます——4:17-18. 5:40. 26:9。
 - D. 主イエスがヒラデルヒヤの勝利者を称賛したのは、彼らが彼の御名を否まなかったからです。回復された召会は、主イエス・キリスト以外のすべての名を放棄しており、絶対に主に属しています——啓3:8。
- III. イエスの御名は、権威と力を表しており、また神が彼にすべてを超越する権威と力を与えたという事実を示しています。イエスの御名の中でとは、信者たちが彼の御名にあずかり、この御名を用いることです——マタイ28:18. 使徒3:6. 4:7, 10:
 - A. 主イエスの御名の中でとは、主が大胆にもご自身の御名をわたしたちの手に託し、わたしたちにこの御名を用いさせてくださることを意味します——マルコ16:17。

B. 召会は、主の御名を用いることのできる、地上における一群れの人々です。彼らがこの御名を用いるとき、神は彼らの行動に対して責任を負います——使徒16:18。

C. 主の御名の中で行動することには、三つの結果があります：

1. 神は人々を諸国民の中から召し出して、ご自身の御名の中へと帰しました。これが、主の御名の中で行動することでの、人に対して生じる効力です——マタイ28:19. 使徒3:2-6. 22:16。
2. わたしたちは主の御名を用いて、敵のすべての力を対処することができます。これが、主の御名の中で行動することでの、悪鬼に対して生じる効力です——ルカ10:17-19. 使徒16:18。
3. 主の御名によって、わたしたちは御父へと行き、御父に語ることができます。そしてわたしたちの祈りは、主の御名のゆえに答えられます。これが、主の御名の中で行動することでの、神に対して生じる効力です——ヨハネ14:13-14. 15:16. 16:24。

IV. わたしたちは、あらゆる事を主イエスの御名の中で行なう必要があります——エペソ5:20. コロサイ3:17：

A. 主の御名の中でのとは、主と一であり、主によって生き、主にわたしたちの中で生きていただくことを意味します——I コリント6:17. ヨハネ6:57. ガラテヤ2:20：

1. 主は、御父の御名の中で来て、御父の御名の中で事を行ないました。その意味は、彼が御父と一であったこと、彼が御父によって生きたこと、御父が彼の中でみわざを行なったということです——ヨハネ5:43. 10:25, 30。
2. 使徒行伝において、主の表現としての弟子たちは、主の御名の中でさらに大いなる事を行ないました。彼らが必要としたのは、御子に彼らの中で生きていただき、それによって御子はその霊として表現されることでした——ヨハネ14:12, 19. 使徒3:6. 4:7, 10, 12. 16:18。

B. わたしたちのクリスチヤンの生活と奉仕において、わたしたちはあらゆる事を主イエスの御名の中で行なう必要があります——エペソ5:20. コロサイ3:17。

C. エペソ第5章20節とコロサイ第3章17節が示していることは、わたしたちが主との一の中へと入れられたということです。わたしたちは彼と一ですから、わたしたちは彼の御名を用いることができ、また彼の御名の中で行動することができます：

1. わたしたちが主イエスの御名の中にあるとき、わたしたちはキリスト

の中にあり、キリストはわたしたちの中にあり、わたしたちとキリストは一です——ヨハネ14:20. I コリント1:30. 6:17。

2. あらゆる事を主イエスの御名の中で行なうことは、いつもわたしたちに次の事を思い起こさせるべきです。すなわち、彼とわたしたちは一であること、わたしたちは彼の中にあり、彼はわたしたちの中にあること、彼はわたしたちの中で生きていること、わたしたちは彼の中で生きるべきであるということです——ガラテヤ2:20. ペリピ1:20-21前半。

3. わたしたちが主イエスの御名の中で事を行なっていることを宣言するとき、全宇宙は、完全にキリストと一である人々がいることを思い起こさせられます。御使いはこの事を尊重し、すべての悪鬼はこの事を恐れます——使徒3:6. 4:7, 10. 16:18。

D. あらゆる事を主イエスの御名の中で行なうことは、わたしたちのクリスチャン生活の基本的な面です。しかし、規制される面もやはりあります。わたしたちは、神の言葉と神のみこころによって規制されなければなりません——マタイ7:21-23。

V. わたしたちは、主イエスの御名の中で祈るべきです——ヨハネ14:13-14. 15:16. 16:23-24 :

A. 復活を通して、主イエスは神の長子として生まれ、また命を与える霊と成りました。そして今、信者であるわたしたちは、その霊の中で、その霊によって、その霊をもって、彼と一になることができます——I コリント15:45後半. 6:17。

B. 主の御名の実際は、わたしたちの霊の中におられる、すべてを含む、複合の霊です——雅1:3. 出30:23-30. ペリピ1:19. I コリント6:17。

C. 主の御名の中でのとは、主と一であること、主によって生きること、主にわたしたちの中で生きていただくことを意味します。「わたしの名の中」で祈るとは、「わたしの中」で祈ることを意味します——ヨハネ15:4-5, 16. 14:19-20. ガラテヤ2:20。

D. 主の御名の中で求めるには、わたしたちが主の中に住み、主と主の言葉にわたしたちの中に住んでいただき、それによってわたしたちが実際的に彼と一になる必要があります——ヨハネ15:4-5 :

1. 主がわたしたちの中で動き、活動し、動機づけ、活気づけるとき、わたしたちは内側で感じるものを表現します。これが霊の中での祈りです——エペソ6:18。

2. わたしたちが主の中に住み、主の言葉をわたしたちの中に住ませる

とき、わたしたちは実際的に彼と一であり、彼はわたしたちの中で働いてくださいます。その時、わたしたちが何を祈ろうとも、祈っているのはわたしたちだけではありません。なぜなら、わたしたちの祈りの中で彼も祈っているからです——ヨハネ15:7。

3. わたしたちは、自分自身ではこのような祈りを持つことはできません。霊の中でのこのような祈りは、内住のキリストから、その霊を通して、彼の言葉によって来ます——14:19-20. 15:7。

©2009 *Living Stream Ministry*